

YELL ~応援される人になろう~

明石市立衣川中学校
第1学年
学年通信 第10号
2020. 6. 4

学校が再開して4日が経ちましたが、中学校生活はどうですか？各自で時計を見ながらチャイム2分前着席ができています。「時間を守る」意識が高いのがすばらしいですね。また、健診で保健室を利用するとき、「失礼します」「失礼しました」と元気よく一礼している人が増えました。個人写真の撮影時にも「お願いします」「ありがとうございました」と言える人も多かったです、立派ですね。中学生になって新たな決意を抱いている今だからこそ、いろいろなことに挑戦しましょう。迷いながらも委員会に立候補した人もいれば、自分の希望通りでない係を任せられる人もいるでしょうが、やるからには自分の役割に責任をもって取り組み、「きぬがわ」の「が」。ガッツある学校生活を送りましょう。チャイム席を呼びかける仲間と、それに素直に協力して着席する集団。「きぬがわ」の「ぬ」。ぬかりない友達の輪をひろめて、仲間を応援しあえる学年を築いていきましょう。そして、「わ」。わらいあふれる学校を担う一員となりましょう。

今日から部活動見学がはじまります。明日からは仮入部も体験できます。部活動も中学校生活で楽しみにしている1つですね。6/12(金)の入部式までに、興味のある部活動に積極的に見学に行き、仮入部を体験して、家庭でよく話し合っって3年間やり遂げられる部活動を決定しましょう。



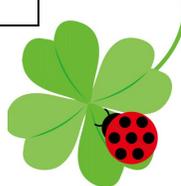
若者Box

一生懸命をわすれずに

私は、生まれてきてなにかに一生懸命になったことはありません。今までなにをやっても、くやしき思いがありません。私は唯一幼稚園のころから水泳をやっていて、中学校では水泳部に入りました。水泳部に入ったら、みんな速くて私もおいつこうとしました。でもクロールのタイムもまだ1分20秒かかってしまい、とても練習しました。そしたら、初めて1分を切った、自分の心の中で一生懸命練習してよかったと思いました。その気持ちのおかげで、大会やテストなどに、今までになかったいい点や、ベストをたくさんだしました。でも、たまにベストやいい点がなくて、とてもくやしかったです。でもそのおかげで、もっと練習をしなければいけない、と思う気持ちもめげませんでした。これから、高校や大学に入っても、その気持ちをわすれずに生きていきます。

(中学生 姫路市)

神戸新聞より抜粋



<新入生歓迎行事(放送) 新入生代表の言葉>

こんにちは。ぼくは衣川中学校新一年生です。自分なりの誓いをこの場をかりて話します。中学校には、小学校とちがいで、数学や美術など、とても難しそうな教科が加わり、少し不安な気持ちがあります。しかし、新しいクラスや部活動の仲間に出会えるなど、楽しみもたくさんあり、不安と期待が入りまじっています。中学校ではいろいろなことがありそうですが、常に努力をして、先輩たちを見習って、「自立・連帯・創意・責任」のある学校生活を送って生きたです。先輩方、先生方、これからよろしくお願ひします。

令和二年六月四日

<クラス目標>

- 1組 「ONE TEAM ~ 時と場所を考えて計画的に行動する ~」
- 2組 「いつでも全力 ☆ いつでも笑顔 ☆ いつでも仲間を大切に」
- 3組 「仲良く・楽しく・カッコ良く」
- 4組 「十人十色 ~ みんなちがって みんないい ~」
- 5組 「Go Go 5組 笑う5組に福来たる Smile every day」

「てんとう虫」の話

みなさん、てんとう虫を知っていますね。あの、自由に飛び回るかわいらしい虫です。もし、てんとう虫をつかまえて、瓶の中に入れ、透明のふたをするとどうなるのでしょうか？

最初は瓶から出ようと飛び続けるのですが、何度飛んでも外に出ることができないと思って飛ぶことを止めてしまいます。そのあとに透明のふたをはずして、飛べば外に出ることができるようにしても、もう飛べなくなっています。では、この飛べないてんとう虫を再び飛べるようにするにはどうすればいいのでしょうか？

答えは、「瓶の中にもう1匹の飛べるてんとう虫を入れる」です。

飛んで外にできるてんとう虫を見ることで、飛べなかったてんとう虫は自分も飛ぶことができることを思い出して再び飛ぶことができるようになるそうです。

飛ぶことができることを忘れていただけで、実はみんな飛ぶことができます。再び飛ぶ方法は、飛んでいる仲間をもつことです。自分は飛ぶことができることに気づいてほしい。そして、自信のない仲間に「飛べるんだ」ということを気づかせてあげてほしい。固定観念や常識の中で飛ぶことを忘れていただけです。みんな飛べるし、夢に向かって羽ばたけます。みなさんも、てんとう虫の話のように、応援される人、応援する人になろう。